

頸肩腕痛に対する良導絡治療

－基本治療点の選択と局所治療－

首都医校 江頭 至光

良導絡治療は、全良導絡調整療法と反応良導点治療を用いて自律神経系の調整を行う治療法である。

自律神経系は、自分の意思では調整ができない神経系であり、内臓・諸器官等を支配しており、その不調は“よくわからない不調”として訴える方が多い。それらの不定愁訴に対して全良導絡調整療法を用いると、内臓・諸器官等が整えられ、自然と元の状態に戻るよう働き、所謂自然治癒力を取り戻して症状の改善に向かう。

一方、身体の不調には、よくわからない不調だけではなく“意識にのぼる不調”がある。この意識にのぼる不調は主に体性神経系が司る。体性神経系は、自分の意思で調節できる運動神経系と、意識にのぼる痛み等を支配する感覚神経系に大別される。運動神経系の異常では麻痺などが起こり、感覚神経系では表在痛や深部痛、多くの種類の侵害刺激などにより感覚異常が起こる。これらの症状を主訴に来院される方は多く、病態把握の上で、局所に適刺激を与えることで症状の改善を目指す。

今回の発表では、全良導絡調整療法の基本調整点の選択と、頸肩腕痛に対する局所治療とを、どのように組み合わせているかを紹介します。さらに良導絡直流電気鍼を用いた施術のメリットについて皆様と共有したいと思います。

以上